

十三祭り

2月7日(土)・国東町岩戸寺

旧暦の1月13日に、五穀豊穰、天下泰平を祈願する十三祭り(じゅうそう)は、300年前から行われおり、現在では、岩戸寺区の神人組(しんにん)の5軒で行われています。

この日は、座元の迫義明さん宅で行われ、岩戸寺住職の読経の後、裏に「鬼」と書かれた的に向かって、一人が3回ずつ矢を打ち、五穀豊穰、天下泰平を祈願しました。



国見中学校卒業記念植樹

この春、国見中学校を巣立つ3年生が、2月17日(火)国見町千燈の六郷満山ふれあい森林公園で卒業記念植樹を行いました。

国見町商工会主催で、自然を大切にする愛護の心を養ってほしいと毎年行われる記念植樹も今年で10回目。この日は、東国東郡森林組合職員の指導で、3年生27人が、もみじの苗20本を植樹しました。



エコバッグで“エコ”やっています!

安岐町商工会女性部が

エコバッグを作製

安岐町商工会女性部(安部弥生部長・32人)が、環境問題の解決に向けた取り組みの一環として、オリジナルのエコバッグを作製しました。同部では、「快適な健康生活を送るためには」をテーマに環境問題に取り組む中、家庭ごみの削減や石油資源の使用量削減へつながるエコバッグを作ろうと4色のエコバッグを作製しました。

安部部長は「買い物でエコバッグを利用するなど、身近なところから始めて、消費者の皆さんが、環境問題に取り組んでいただければうれしいです。」と話しています。



▲青・黒・赤・緑の4色のオリジナルエコバッグを作製しました

国東高校3年生が木製ベンチを寄贈

国東高校電子工学科の3年生が、課題研究で作製した木製ベンチを、学校前のバス停に寄贈しました。

ベンチを作製したのは、田畑あゆみさん、高井悠衣さん、吉武ひかるさんの3人。授業で学んだ技術を活用し、お世話になった学校に何か作りたいと、学校前のバス停のベンチを作ることに挑戦。

3人は、「ベンチを作るのは、思っていた以上に難しかったいへんでしたが、完成した時は、うれしかったです。このベンチを、多くの人に使ってもらいたいです」と話してくれました。

バス停に手作りのベンチ2個を設置した
(左から)田畑あゆみさん、高井悠衣さん、吉武ひかるさん▶

